



2023年10月10日

各 位

会社名 株式会社ビックカメラ
代表者名 代表取締役社長 秋保 徹
(コード番号：3048 東証プライム)
問合せ先 取締役常務執行役員 安部 徹
TEL 03-3987-8785

特別損失（減損損失）の計上及び業績予想の修正 に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上するとともに、2023年4月6日に公表した2023年8月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の発生及びその内容

当社グループは、取り巻く環境の変化や足元の経済状況等を踏まえ、主に当社の連結子会社である株式会社ビックライフソリューションが保有する機械装置等の固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、減損損失 44 億 7 百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想の修正について

(1) 2023年8月期通期 連結業績予想数値の修正（2022年9月1日～2023年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 830,000	百万円 15,500	百万円 17,500	百万円 7,800	円 銭 45.57
今回修正予想(B)	815,000	14,200	16,500	2,900	17.16
増減額(B-A)	△15,000	△1,300	△1,000	△4,900	
増減率(%)	△1.8	△8.4	△5.7	△62.8	
(ご参考)前期実績 (2022年8月期)	792,368	17,863	20,808	5,765	33.22

(2) 修正の理由

売上高は、インバウンドの回復基調により伸びたものの、引き続き巣ごもり需要の反動減による影響が続いており、公表した通期業績予想を下回りました。

利益面では、販管費全体のコントロールに努めたことで費用を抑えることが出来たものの、売上高要因に加え、上記のとおり減損損失を特別損失に計上したことにより、各利益は公表した通期業績予想を下回りました。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

以 上